

## 国語総合 例題

1. 次の漢字の読みを書きなさい。

- |     |    |      |    |
|-----|----|------|----|
| (1) | 恩恵 | (6)  | 稚拙 |
| (2) | 繁茂 | (7)  | 名残 |
| (3) | 示唆 | (8)  | 矛盾 |
| (4) | 把握 | (9)  | 冬至 |
| (5) | 口調 | (10) | 支度 |

2. 次の四字熟語の読みを書きなさい。

- (1) 大同小異
- (2) 悪戦苦闘
- (3) 半信半疑
- (4) 縦横無尽
- (5) 自業自得

3. 次のカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) 多額のシュウエキを見込む。
- (2) ソザイの持ち味を生かす。
- (3) 雲一つないカイセイだ。
- (4) カメラがコシヨウする。
- (5) 物資をキョウキュウする。
- (6) ケンコウのため運動する。
- (7) 飛行機をソウジュウする。

- (8) キケンを冒して挑戦する。
- (9) 畑のキボを拡大する。
- (10) メンミツな計画を立てる。

4. 次のことわざの意味をA～Iの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 案ずるより産むがやすし
- (2) 口は禍の元
- (3) 百聞は一見にしかず
- (4) 立つ鳥跡を濁さず
- (5) 腹が減っては戦ができぬ

- A どんな大事業でも、はじめはまず、ごく手近なところから始まるということ
- B 跡始末は見苦しくないようにきちんとすべきであるということ
- C 子供は甘やかして育てるより社会に出し、世の中の苦しみや辛さを経験させたほうがよいということ
- D 物事は前もってあれこれ心配するよりも、実際やってみると案外たやすくいくものだという事
- E 用心に用心を重ねて慎重にやること
- F 何回も耳で聞くよりは、自分の目で確かめるほうがよく理解できるということ
- G なにをするにも十分な用意がいるというたとえ
- H 何気なく言った言葉が災難を招くことがあるので、話すことには十分に注意せよということ
- I 似た者同士は自然と寄り集まるということ

5. 次の文章を読んで問いに答えなさい。

(省略)